

新型コロナウイルス感染症の院内感染事案（クラスター事案）の発生について
（大和橿原病院第2報（最終報））

大和橿原病院において、これまでに入院患者8名、職員6名 計 14 名の感染が判明しました。感染状況から、入院病棟Aにおいて院内感染（クラスター）が、入院病棟Bにおいて院内感染が発生したと考えられます。

これを受け、当該医療機関では病棟の職員及び入院患者に健康観察を行ってきましたが、健康観察期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから、院内感染事案は終結し、本日（2月15日）から大和橿原病院はすべての病院機能を再開します。

感染拡大の原因は、感染者の早期発見および感染防御策の徹底が不十分であったことと推定しています。

当該医療機関では改めて職員の感染防御策の徹底（手指消毒、マスク着用、PPE（個人用防護具）着用）および職員・患者への健康管理の徹底を行うなどの再発防止策を講じたところです。

1 発生場所

大和橿原病院（所在地 橿原市石川町81）

2 感染者の概要（合計14名）

- ・経緯：入院病棟A 1月26日に1例の感染を確認。濃厚接触者等の検査結果から、12例の感染を確認。
入院病棟B 2月1日に1例の感染を確認。

- ・感染者内訳：入院患者8名、職員6名

20代2名、30代2名、50代1名、60代1名、70代2名、80代5名、90代1名

	入院病棟A	入院病棟B
入院患者	7名	1名
看護師	5名	—
看護助手	1名	—
合計	13名	1名

※第1報（1月30日）以降、入院患者3名、職員1名の感染が判明しています。

第1報において、入院病棟Aの感染者内訳に誤りがあり、介護士1名を看護助手1名に修正しています。

3 県の対応

- ・入院患者の健康観察の徹底と発熱等患者発見時の早期検査実施を指示
- ・職員の日常生活を含めての感染対策の徹底を指示

4 病院の対応（2月15日0時時点）

- ・関係箇所の消毒実施
- ・入院病棟Aの入院を休止（1月26日～2月14日）

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。